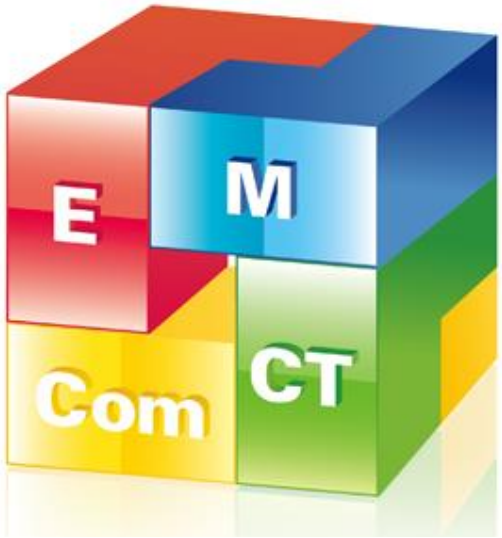
2018年3月期連結決算説明資料

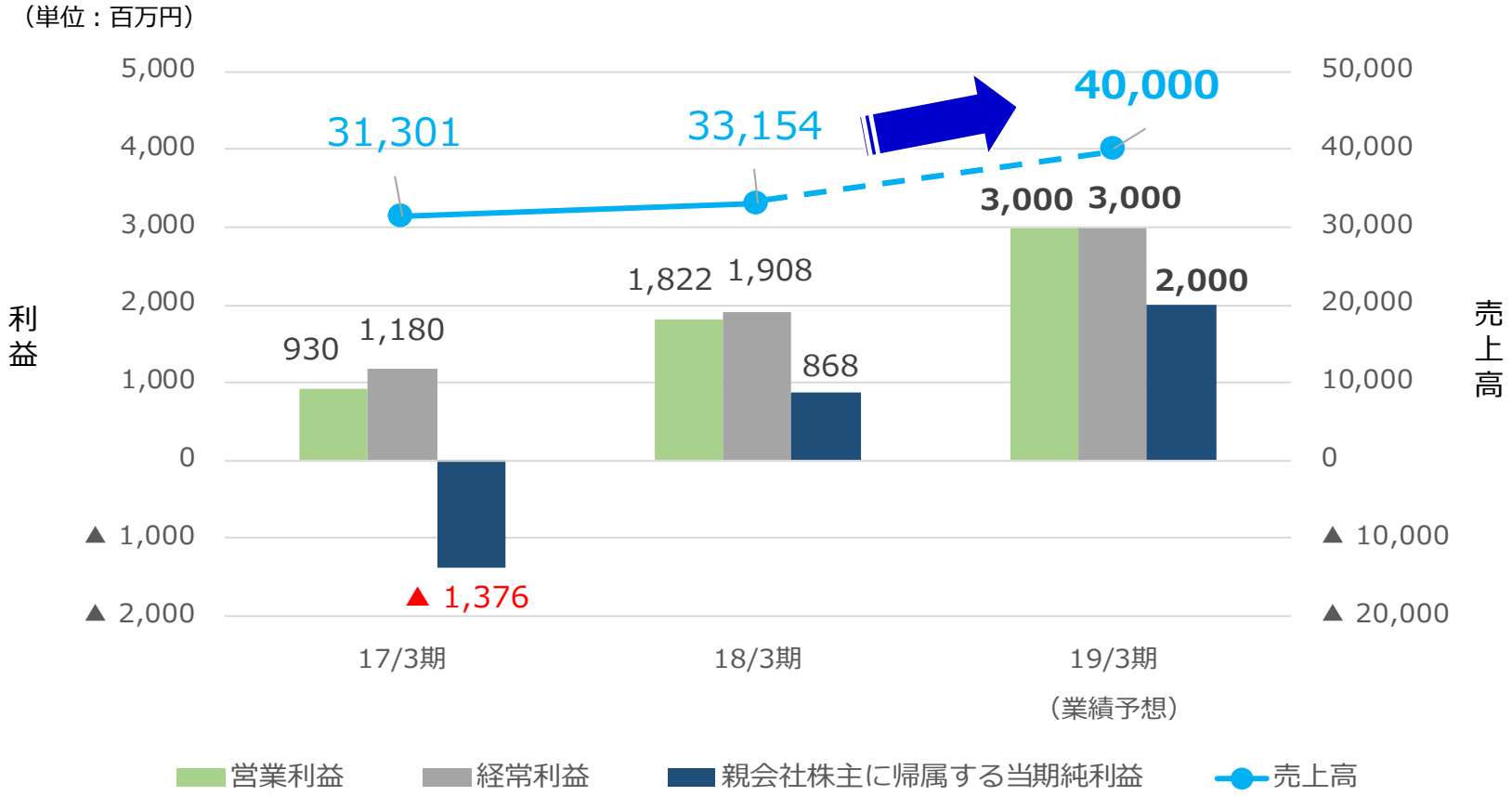
Our Technologies Realize Your Dreams



80th Anniversary

2018年5月25日
オリジン電気株式会社

連結業績概要



- 18/3期の売上高は、メカ事業の減少を他事業がカバーし増収
  同利益は、原価低減及びコストダウンに努めた結果増益
- 19/3期はメカ事業のMDB受注獲得等により、前期比で増収増益の予想

19/3期重点戦略

➢ 新規分野開拓（将来への種蒔き）

・ケミ（事）　：産業機器向け**「放熱塗料」**、情報家電・光学向け**「速硬化塗料」**等

・コンポ（事）：車載・家電向け**「小型高トルクリミッタ」**等

産業機器向け**「SiCモジュール」**等

・メカ（事）　：車載・産業向け**「DB」**、LED・パワーデバイス向け**「VSM」**等

※DB:Display Bonder、VSM：Vacuum Soldering Machine

・エレ（事）　：スマエネ向け**「蓄電システム」**等

➢ ものづくり力の強化

・ケミ（事）　：**拠点の再編成**

・コンポ（事）：**大量生産体制及び外部生産体制の強化**

・メカ（事）　：**マルチエンジニアの育成**

・エレ（事）　：**主要製品コスト低減による競争力強化**

世界に通用する技術で未来を創出

商号変更（定款変更議案可決が条件）

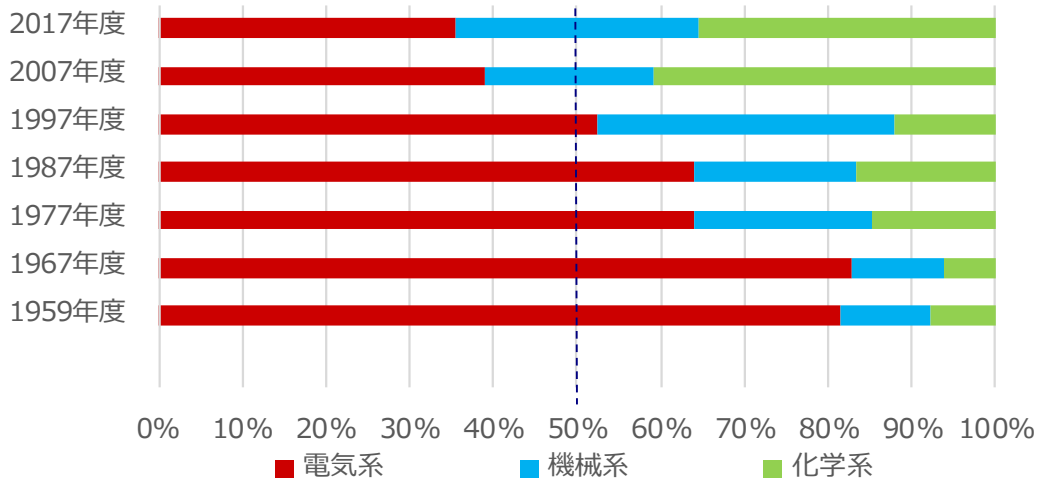
従来の電源機器や半導体の領域を超えて大きく進化・拡大していることから、
このたびオリジン電気株式会社の商号を**「株式会社オリジン」**へ変更することとしました

事業の変遷

・1938年に電気炉、亜硫酸銅整流器の製造、富士電炉工業として東京で創業
・整流素子の開発、配電盤の製造事業へと移行、電話網整備計画とともに事業を拡大
・1952年に社名をオリジン電気に変更
・1955年に溶接機、1957年に合成樹脂塗料、1961年にベアリング製造と、
　電源機器や半導体の開発で培われた多様な要素技術をベースに新規事業を発足
・現在はエレ事業、メカ事業、ケミ事業、コンポ事業で展開

変更予定日

・2019年4月1日



連結売上高割合（参考）

商号変更（定款変更議案可決が条件）

人をつくり 物をつくり 富をつくる

「開かれた企業」「独自性ある企業」「自己実現の場である企業」

おかげさまで８０周年を迎え
来年4月1日、オリジン電気株式会社は

「株式会社オリジン」へ

旧本社工場跡地の現況

- 土壌交換は順調に推移し、2017年11月21日に終了
- 2年間に亘る地下水のモニタリング（全８回予定）のうち、1月及び4月の２回を完了

連結業績

（単位：百万円）

	17/3期	18/3期	前期 増減率
売上高	31,301	33,154	5.9%
営業利益	930	1,822	95.9%
経常利益	1,180	1,908	61.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	▲ 1,376	868	–

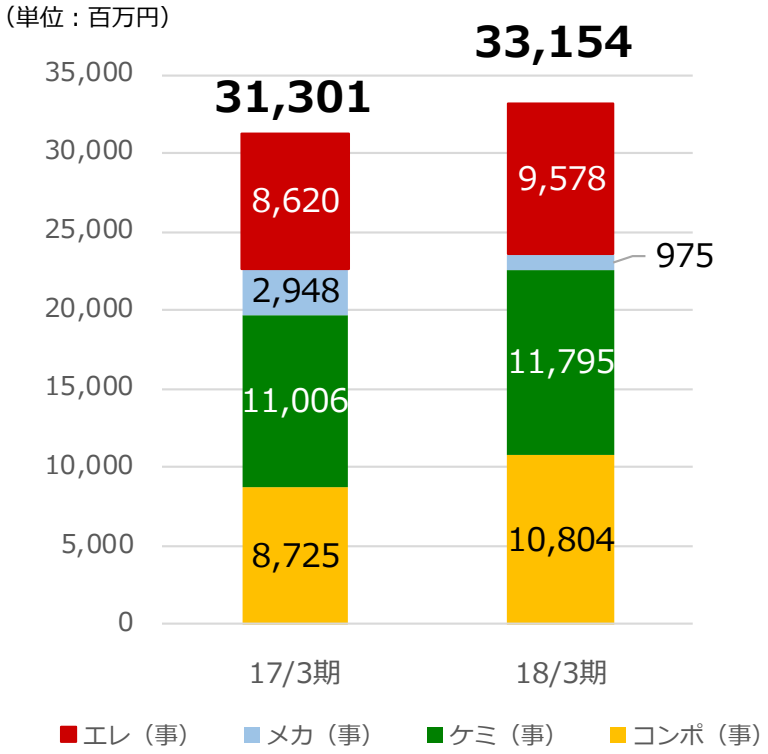
（単位：円）

1株当たり当期純利益	▲ 206.58	130.62

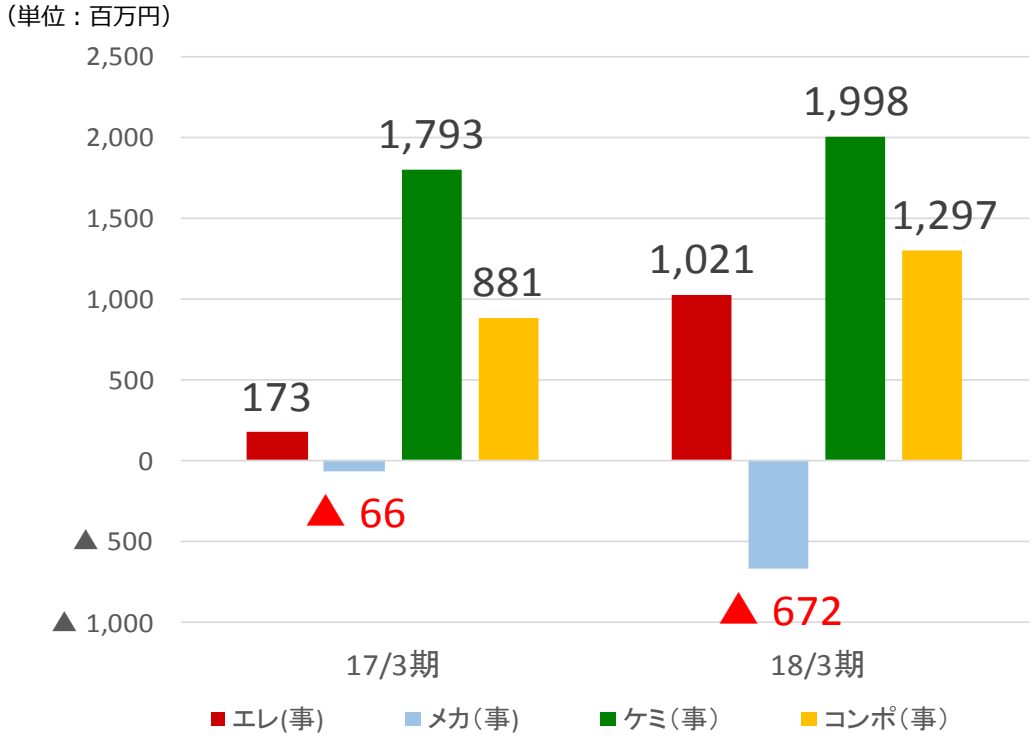
- 売上構成の変動に加え国内外グループ全体で原価低減、コストダウンに努めた結果営業利益及び経常利益において前期比大幅増
- メカトロニクス事業において、第2四半期に主力製品のMDBの売上減少に伴い、固定資産について帳簿価額を回収可能額まで減額し、267百万円の減損損失を特別損失に計上

セグメント別連結売上高及び利益（全社費用配賦前）

連結売上高



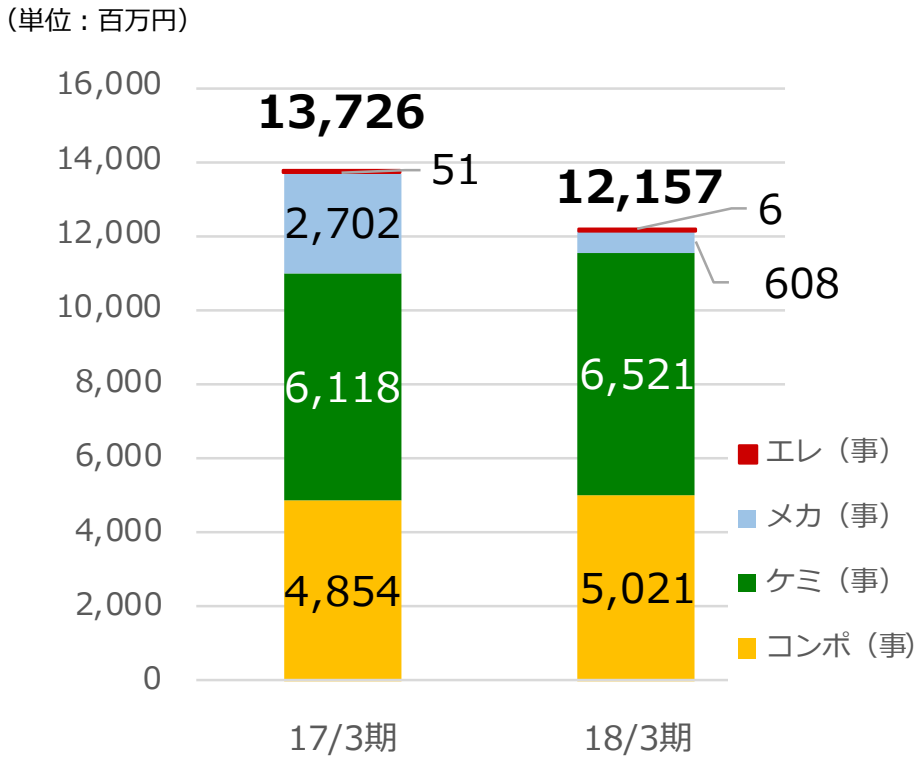
セグメント利益



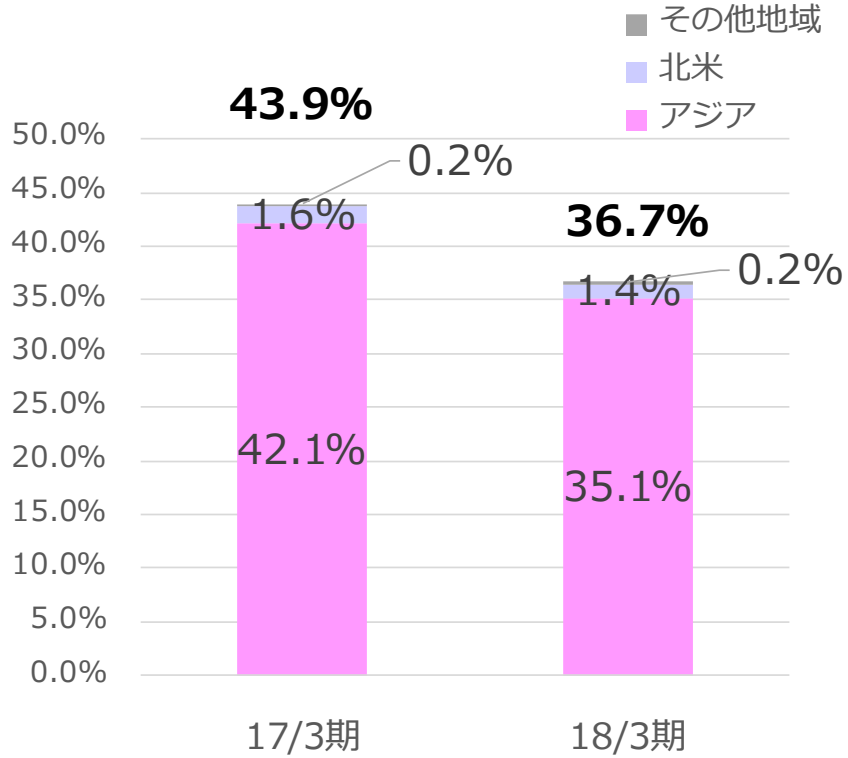
- エ　レ（事）：無線基地局用電源が全国的に伸長したこと等により増収増益
- メ　カ（事）：MDBが大幅減したこと等により減収減益
- ケ　ミ（事）：主力の自動車関連分野を中心に堅調に推移し増収増益
- コンポ（事）：車載部品関係が好調に推移し事務機器関連も大幅に伸長し増収増益

海外顧客向け連結売上高（セグメント別・地域別）

セグメント別



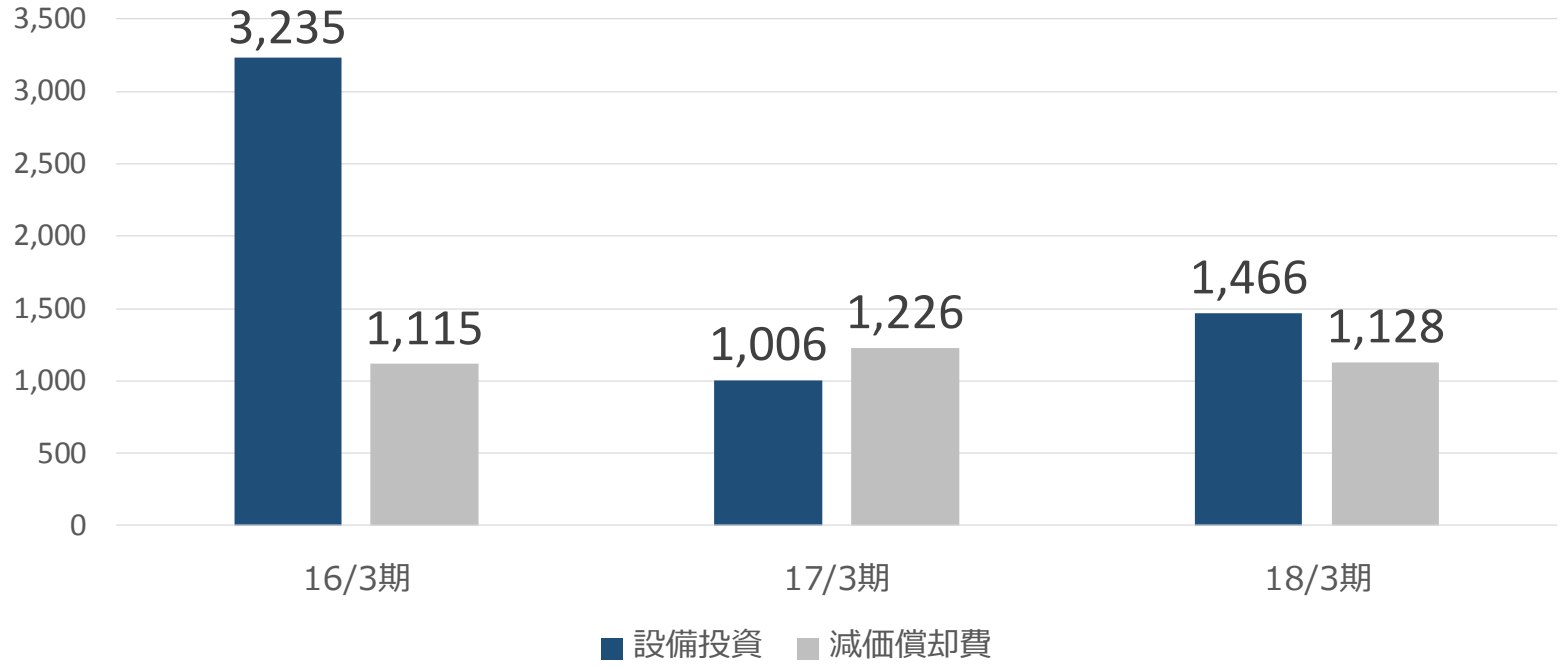
地域別



- ケミトロニクス事業及びコンポーネント事業の海外顧客向け売上高は増加したものの、メカトロニクス事業のMDB売上が落ち込み、海外顧客向け売上高大幅減少

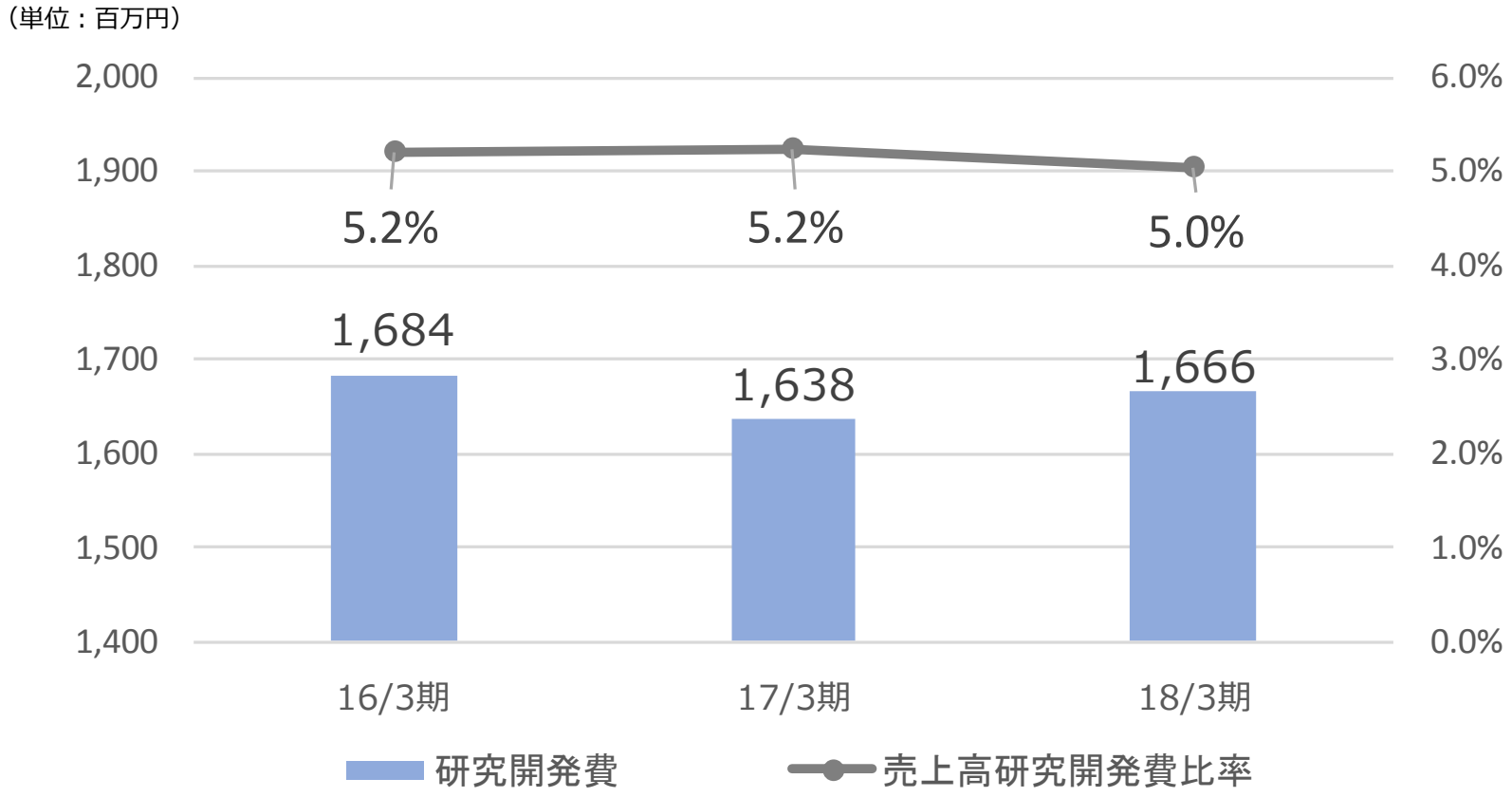
設備投資、減価償却費

（単位：百万円）



- **16/3期 設備投資増加の主な要因**
  - ・本社移転に伴う新棟建設投資
- **18/3期 設備投資増加の主な要因**
  - ・連結子会社東邦化研工業（株）の本社移転に伴う新棟建設投資
  - ・コンポーネント事業の製造装置増強投資

研究開発費、売上高研究開発費比率



- 18/3期研究開発費は前期比並みに推移
- 売上高増加に伴い、売上高研究開発費比率は0.2%低下

連結貸借対照表

（単位：百万円）

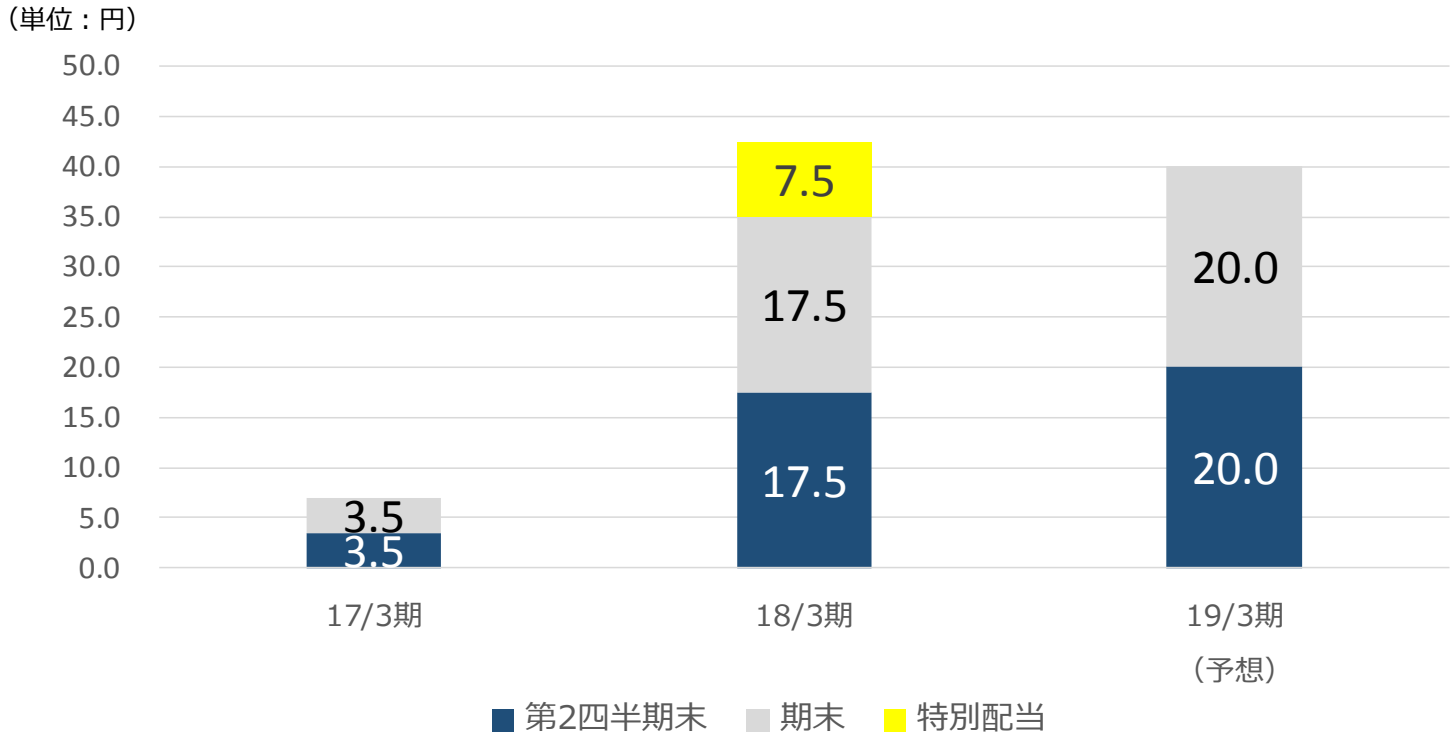
	17/3期 期末	18/3期 期末	前期末 増減額
流動資産合計	25,427	27,274	1,846
固定資産合計	16,830	18,246	1,416
資産合計	42,258	45,520	3,262
流動負債合計	13,496	15,869	2,373
固定負債合計	5,069	4,329	▲ 740
負債合計	18,565	20,198	1,632
純資産合計	23,692	25,322	1,629
負債純資産合計	42,258	45,520	3,262
自己資本比率	50.2%	49.7%	▲ 0.5%

連結キャッシュ・フロー

（単位：百万円）

	17/3期	18/3期	前期増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,200	992	▲ 208
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,206	▲ 2,075	▲ 868
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 191	491	682
現金及び現金同等物の増減額(▲減少)	▲ 456	▲ 502	▲ 46
現金及び現金同等物の期末残高	5,578	5,075	▲ 502

配当の状況



- 18/3期の10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施
- 18/3期及び19/3期の配当金は、株式併合を考慮した金額
- 18/3期の1株当たり期末配当金25.0円の内訳は、普通配当：17.5円　特別配当：7.5円

連結業績予想

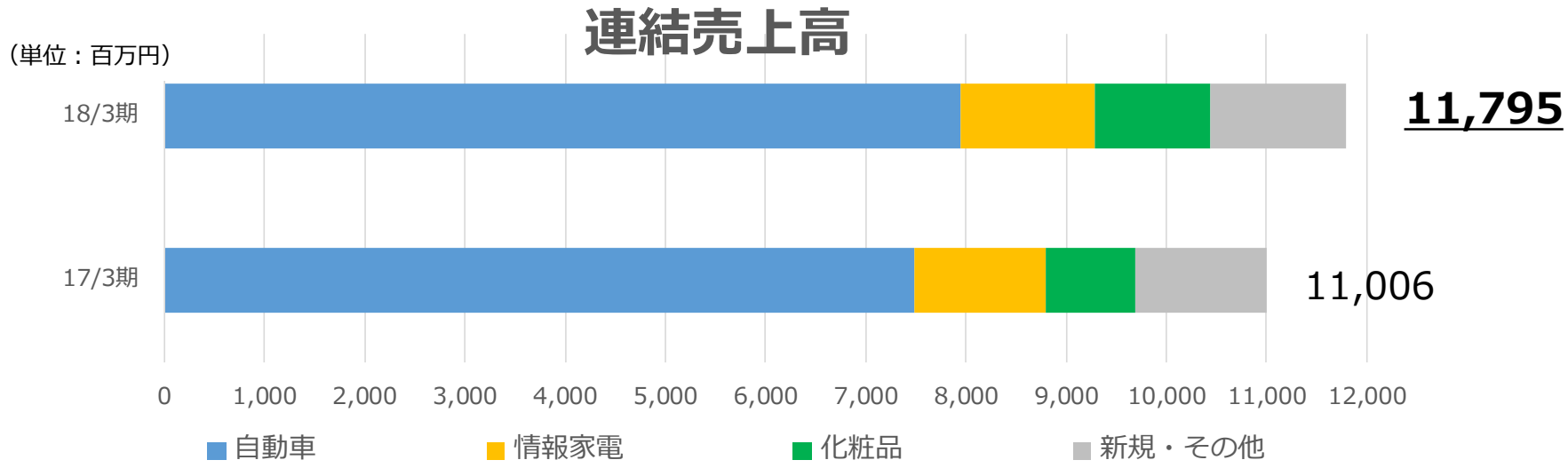
（単位：百万円）

	18/3期　実績	19/3期　予想	前期 増減率
売上高	33,154	40,000	20.6%
営業利益	1,822	3,000	64.6%
経常利益	1,908	3,000	57.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	868	2,000	130.3%

※連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、
　実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合あり

MEMO

ケミトロニクス事業　連結業績詳細



18/3期　連結売上高概況

- 自動車関連分野伸長
- 中国拠点好調（上海、天津、東莞）

18/3期　トピックス

- 東邦化研工業㈱（子会社）移転完了
- 品質保証体制の強化

19/3期　連結売上高計画（連結調整後）

- 12,000百万円

19/3期　重点施策

- 新規分野開拓（新規用途・新機能）
- BCPの体制強化
- インフラ、拠点の再構築推進

主力製品採用事例　スマートカー関連部品

反射防止・高耐候
衝突防止システム部品
（カメラブラケット）

エコネットＥＺ

反射防止・高耐候
ヘッドアップディスプレイ部品

エコネットPP-100

ダッシュボード内
埋め込み部品

新製品情報①

製品名：オリジキャストHC#100,＃200

特長

放熱性一般溶剤型熱硬化塗料

- ［**放熱性能**］高い放熱性を有する塗膜を形成
- ［**防食性・耐候性**］優れた防食性・耐候性
- ［**使用環境対応**］樹脂系の選定により、様々な素材、使用環境への対応が可能

用途

- 産業機器
- 光学機器

新製品情報②

製品名：エコネットEB-FF

特長

速硬化高光沢２液塗料

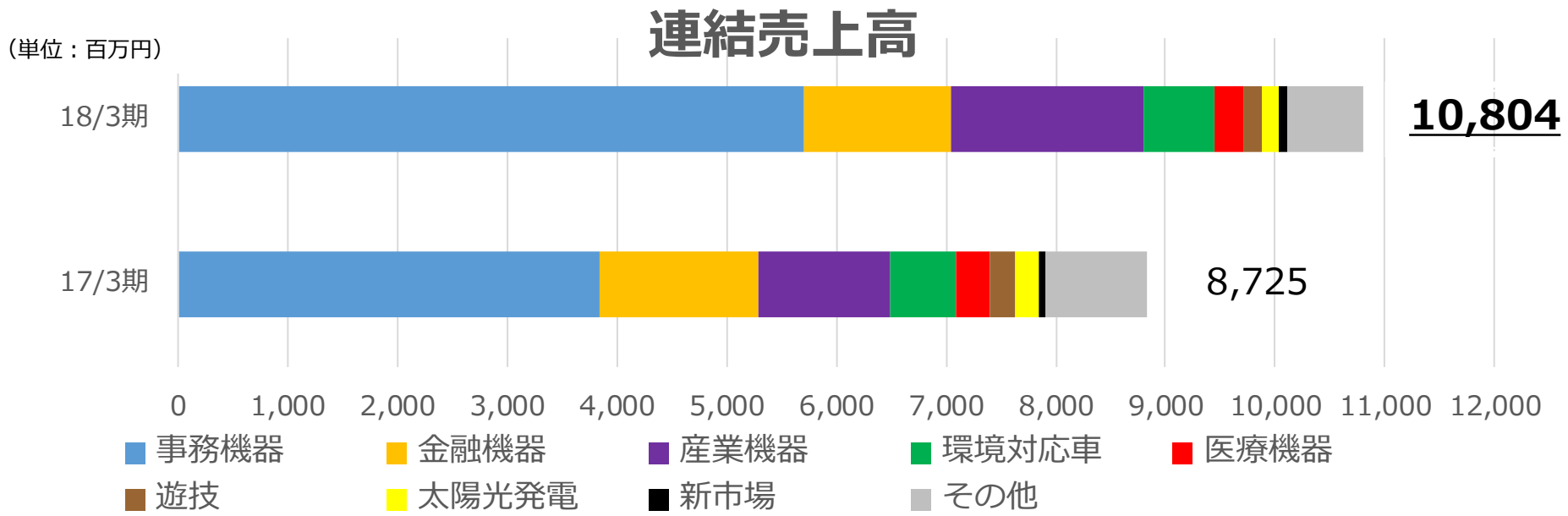
- 市場実績多数のエコネットEBの進化版
- 従来品より乾燥時間、温度を大幅低減
  (70℃×40分　→　60℃×10分)
- 従来品と同じ乾燥条件であれば、
  後工程までの時間を大幅削減

用途

- 自動車内装部品
  (スイッチパネル、グローブボックス、
  シフトパネル、センターパネル等)
- その他情報家電、光学関係など

＝ 採用イメージ部位

コンポーネント事業　連結業績詳細



18/3期　連結売上高概況

- 事務機器、産業機器向けの販売増加

18/3期　トピックス

- グローバル展開
  - ・歐利生（香港）有限公司設立
  - ・Origin Manufactures Vietnam Co.,Ltd. 設立

19/3期　連結売上高計画（連結調整後）

- 11,500百万円

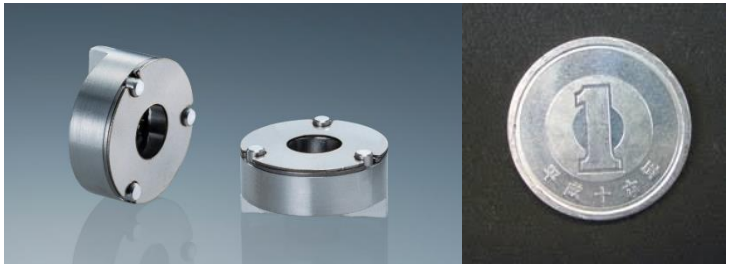
19/3期　重点施策

- 大量生産体制及び外部生産体制の強化
- 新製品開発と新市場への参入
- 既存市場の用途開拓と拡販

製品名：小型高トルクリミッタ

特長

- 小型（外径φ16）
- 高トルク（0.5Nm～15.0Nm）
- ノンバックラッシュ

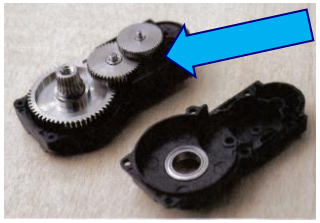


小型高トルクリミッタ外観

用途

- スマートロボット駆動部安全機構
- パワーバックドア駆動部安全機構

使用例



スマートロボット駆動部

ﾊﾟﾜｰﾊﾞｯｸﾄﾞｱ
駆動部

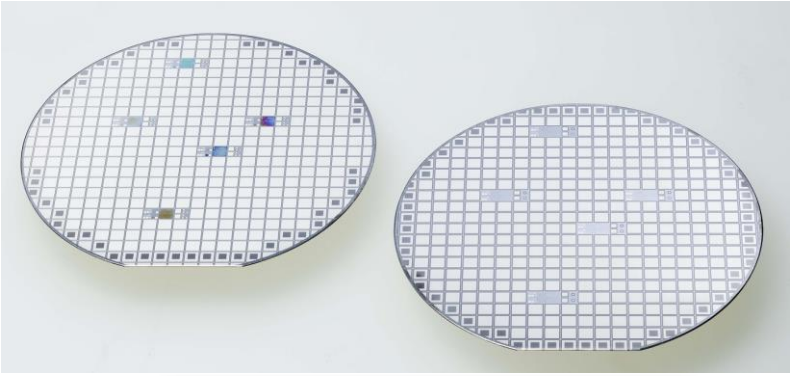
新製品情報

製品名：SiC　Module

特長

- SOT227パッケージで2製品を開発
  - ・SiC-MOSFET（製品名：OFS50M120F）
  - ・SiC-SBD　　（製品名：SS120ZP120A）
- 高耐圧　：VRM=1200Ｖ
- 高速動作：trr≦50nsec　(SBD)

使用例



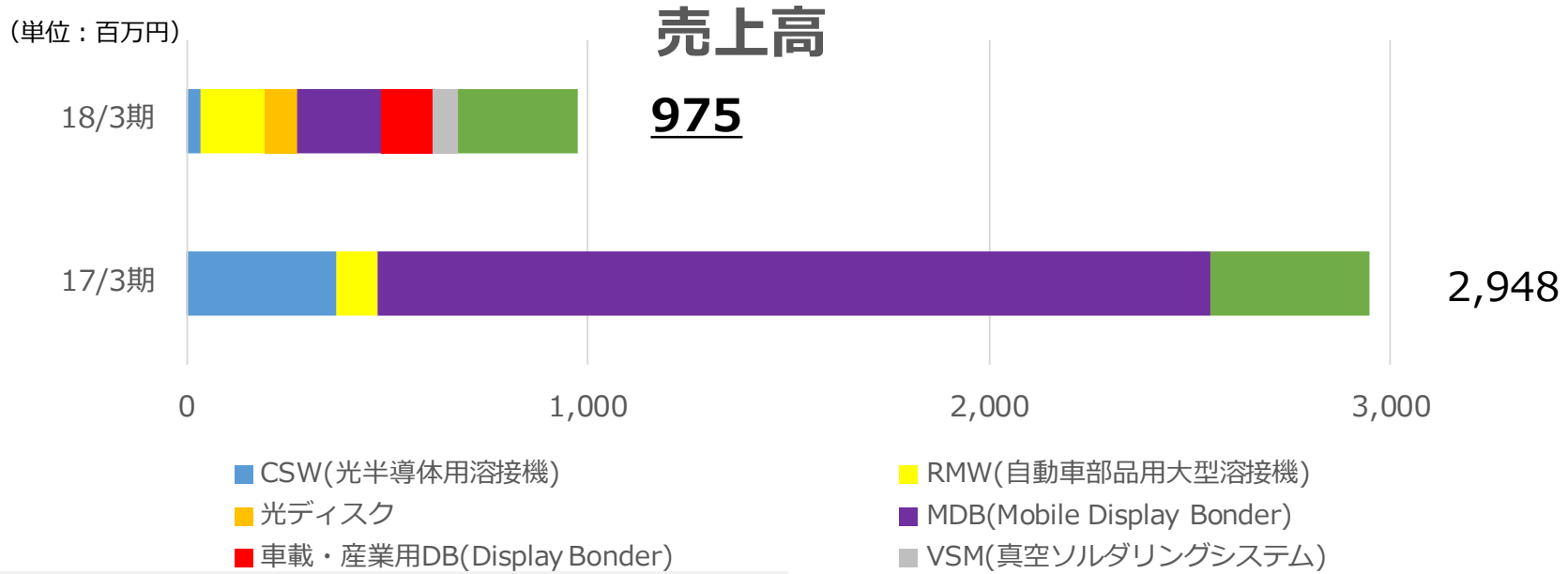
半導体製造装置用電源
（写真は半導体ウエハ）

用途

- 高周波スイッチング電源
- フライホイル・逆流阻止用
- 力率改善回路・スナバー回路等

MEMO

メカトロニクス事業　業績詳細



18/3期　売上高概況

- MDB、DB :売上低迷
- CSW :価格競争の影響大きく販売進まず

18/3期　トピックス

- MDB :受注獲得
- VSM :LED市場への拡販（ギ酸方式浸透）

19/3期　売上高計画

- 8,000百万円

19/3期　重点施策

- MDB:生産体制整備、DB:販売強化
- CSW:廉価版製作による競争力強化
- VSM:PD(国内・海外)市場開拓・販売強化

※PD：パワーデバイス

製品名：車載向けディスプレイ貼り合せ装置（ＤＢ）

特長

- 高精度スリット塗布と真空貼り合せ
- 5.0～18.0”のパネルサイズに対応
- CG,CGS,TP,LCM,LCD等幅広いパネルに対応 ※1
- 2液性材料、ダム剤、補強剤塗布に対応

用途

- 車載及び産業用ディスプレイの貼り合せ

型式：NR2St

※1　CG：カバーガラス　　CGS：センサー付カバーガラス　　TP：タッチセンサーパネル
LCM：LCDモジュール（バックライト取付後）　　LCD：LCDオープンセル（バックライト取付前）

ＤＢ（Display Bonder）の用途

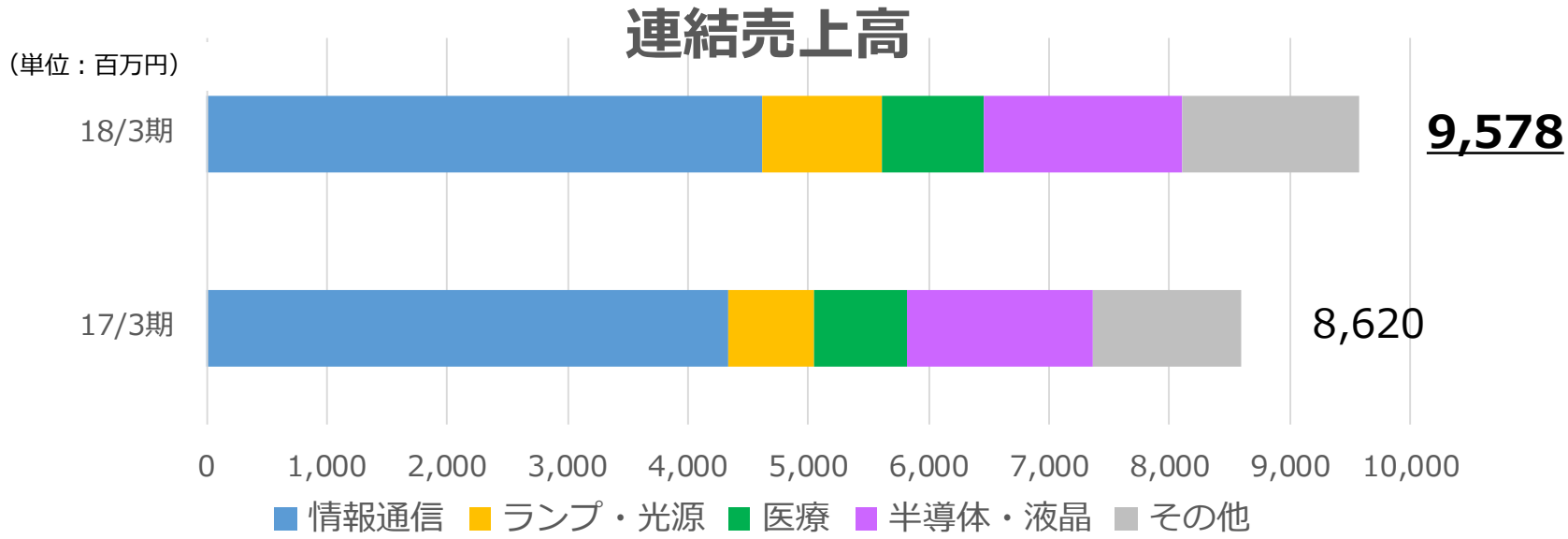
モバイルフォン(MDB)から車載用途(DB）への展開

車載用途から産業用・家電用途へ市場拡大

etc.

MEMO

エレクトロニクス事業　連結業績詳細



18/3期　連結売上高概況

- 無線基地局用・液晶製造装置用電源が伸長

18/3期　トピックス

- ピークカット用蓄電システムの実証実験、バックアップ電源システムの開発
- 殺菌用UV電源の販売

19/3期　連結売上高計画（連結調整後）

- 8,500百万円

19/3期　重点施策

- 医療分野での海外展開
- スマエネ向け「蓄電システム」の市場開拓
- 主要製品コスト低減による競争力強化

主力販売製品

製品名：整流装置（DC48V45A）屋外仕様

特長

- ポールマウントを考慮した小型電源（電力密度：従来比約3倍）
- 外装は耐重塩害塗装仕様・放熱は屋外熱交換器を使用
- 安全で環境負荷の少ないニッケル水素電池を使用
- 停電時バックアップ時間は約20分（増設可能）
- 蓄電池寿命予測機能・蓄電池切離し機能

用途

- 移動通信基地局用整流装置
- サーバー・ルータ
- 直流48V入力の負荷装置

主力販売製品

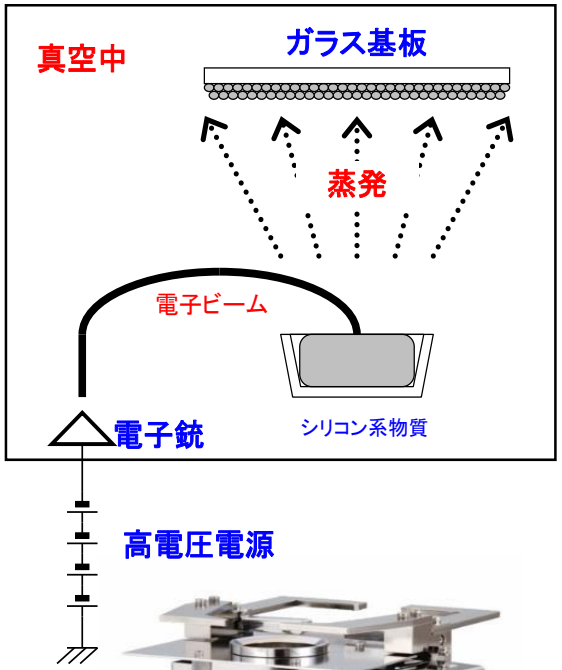
製品名：電子ビーム蒸着システム(電子銃＋高電圧電源)

特長

- シリコン系物質を電子ビームで溶かし込みガラス基板に成膜する装置に採用
- 高電圧電源＋電子銃を付加価値として安定生産に寄与

用途

- 情報端末機器用の液晶ガラス防汚膜用製造装置
- レンズ反射防止膜用製造装置



電子銃

新製品情報

製品名：5kVA/5時間保持無停電電源装置

特長

- 商用同期常時インバータ給電方式を採用
- 遠隔で装置状態や警報情報を監視可能
- 搭載蓄電池には寿命予測機能あり
- 負荷停止することなく前面保守作業が可能

用途

システム概要

通常運転動作 三相AC200V入力より常時インバータ給電で 負荷側へ単相AC100Vを供給	**充電動作** 通常運転動作を行いながら蓄電池に充電 （充電頻度は月1回程度）
瞬低・停電動作 蓄電池出力より常時インバータ給電で 無瞬断にて負荷側へ単相AC100Vを供給	**故障・メンテナンス動作** 直送給電で負荷側へ単相AC100Vを供給 インバータ故障時は、無瞬断で切替え

◇当資料はオリジン電気株式会社が作成したものであり、内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。
複写及び無断転載はご遠慮下さい。

◇当資料に掲載しております情報は、2018年3月期連結決算の経営成績や財務内容等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる保証を行うものではありません。

◇業績予想等は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在していますので、実際の業績はこれらの予想数値とは異なる場合があります。

◇当資料は当社が現在発行している、また将来発行する株式や債券等の保有を推奨することを目的に作成したものではありません。

プレス・アナリスト・機関投資家様　個別取材窓口

オリジン電気株式会社

経営企画部

TEL:048-755-9422